夕刊
磐城新聞
二月十九日發行
(日曜祭日翌日休刊)
振替東京一〇八五五六番

雜記一二三(五)

五十嵐雄之

しかし段々年を重ねて來ると利害損得を外にしてもそうした四角張つた考の間違ひを悟つて來た、殊に自分が主人役として人を接待する場合、恩師謝恩の會につらなつた時などにはお客のもてなしにならないのみか和やかな空氣を漂はせる妨げになることさへあるやうでこれではいかぬと思はれた。こんな時唄の一つに下手な調子のあやしい唄の一つも出來たらどんなにか座興を助けることかと感じ出した。そこで何んでもよいから一つ覺えておかう最後の切札、傳家の寶刀といふ所をといふのでそれにはワシが國サの俚謠お自國慢の二遍返しでもと思つて早速レコードを二三枚取寄せて勉強して見た。聽いてゐるとすぐ出來そうである横山さん(前平署長)お得意の御家藝の樣に胸を張り出し意氣揚々と出來そうであるが、しかしいざやつて見ると中々思ふ樣にはいかない、殊にレコード吹込みの歌手は相馬の藝者で生粹の相馬ッ子、東北情調豊かな東北訛りの聲である。それ近所似るとなると根本的發音改革となる始末、トニカク賀に六かしいと思つた正月の或日の宴會の後で一本になつたばかりの若い藝者に賴んで二遍返しの基本習を受けやうと思つて十遍ばかり繰返して唄つてもらつた、それについてどうやら形だけは出來るやうになつた、しかしこの師匠の歌が果して正調かどうか甚だ訳しいがレコードの先生のよりも餘程私には樂だつた、だが何時になつたら隱し變でござるといつて唄はれる日が來ることやら(完)

暮れる原

加藤のきら

枯れた草
やせた馬は 食べてゐる
空は眞赤
ちぎれ雲
ゆつくり 飛んで行く
赤く燃へて
枯れたきび
淋しそうに 立つてゐる
遠くの島
遊びつかれ
默つて歸る 子供達
原は暮れてく

節分

珠雲 小野務平

石火光中歲月遷
今宵忽迎節分天
追儺未掃胸襟間
叫斷南阡又北阡

今日の訓へ

新名 山人

いくら正宗でも研かずば切れ味は止まる如く、人學ばざれば、良い考は出ないものである

2月20日
△大分縣宇佐神宮の釣鐘が鑄造さる(延喜四)△日露戰役で我軍棒子嶺を占領(明治三八)△上海で南北和平會議開かる(大正八)△上海事變で江灣鎭を占據す(昭和七)△世界大戰中、ドイツ初めて新化學兵器たる火焰發射機を用ふ

芽吹く

鈴木欣々子

海の風はなれぬ草を子と摘めり
土筆摘み砂洲のひかりに疲れゐる
梅にはふ風こぼしつゝ雲ゆけり
磐城平水道水源地をゆく
芽吹く樹が縫ひ流れくるその響き
馬醉木咲く巖根を永遠の水ながる

新年俳句大會の記

主催好間初鴨句會
伊藤寒山子記

五

最後に好間田島新聞店からも厚意をいただいた事、紙上あつく御禮申し上げます

附記。好間初鴨句會主催の新年俳句大會記としては不充分であるが、早くお知らせしたい關係から大ざつばに書きました。尚文中失禮の點があつたら御わび申し上げます今後の御厚意に充分の誠意をさゝげつゝ擱筆

時間 二月十一日午後五時より同十二時まで
場所 寒山子庵
出席者 青洲 好山 旗城 何鳴 上鶴 秋岳 露草 喜山郎 磐洲子 金鈴子 西峯 みのり 梅檀子 惠須 長壽 梢月 二葉 欣々子 寒山子 計十九名 作品いみ 六中 龍尾 武門 柴子
成績 十九點何鳴 十八點秋岳 十六點露草 十六點磐洲子 十五點上鶴 十四點寒山子 十二點栴檀子 十二點武門 十一點欣々子 以下略

作品

羽子 馬醉木の花(兼題)

五點 のぞつて危く羽子を突きかへす 武門
四點 羽子突くや眞白き腕おしみなく 同
四點 經塚のそれとも判かずあしび咲く 上鶴
三點 美しき池の觸るゝに羽子さよし 同
三點 花あしび梨の屋へ行く路せばめ 秋岳
三點 參道の湧く水清し馬醉木咲く 同
三點 馬醉木咲く巖根を永久の水流る 欣々子

講談 妖刀流轉(ようとうるてん) (一、九一五)

(17) 邑井貞吉演 佐々木今朝吉畫

權次の最期(九)

女『さあ、も一つお酌しませう』

了『いえ、へゝ、まだ御座いますね、左樣ですか、どうも恐れ入ります、一々お酌では相濟みません』

女『何ですね、そう度毎にお叩頭をしてゐては身になりませんわ、どうか自由に飮つて下さいよ』

了『へゝ有難い事で御座います、御酒が腸へきゆーつとしみ込んで一遍に身體が熱くなりました、久しぶりで頂きましたが御酒はいゝもので御座りますなあ、ねつへゝ』

了念顏を赤くして嬉しそうだ、誰しも酒をのむと調子の變るもの、了念すつかりいい心持

女『ねえ了念さん』

了『はいはい』

女『お前さんいくつになるの』

了『へ、私の年齢で御座いますか、えつへゝゝ、もう可けません、六十を越してから三年になりますよ』

女『あらまあ、不思議だわねえ』

了『えつ、不思議と仰しやいますと』

女『年までも同じなんだよ、いゝわねえ、實はいつも私が朋輩衆にもそういつてゐるんだが、他人の空似といふ事はあるけれど了念さんお前さんの顏から背恰好、前こごみに歩くその癖まで何もかも私の死んだお父さんに瓜二つといひ度いがその儘の生寫しなのよ、見れば見る程似てゐるのさ、私はお前さんが家の前で拜んでゐなさる時、いつでも格子の蔭から覗いてはお父さんに逢つてゐるような氣がしてね人知れず涙をこぼしてゐたんだが、斯うして差向ひになつて見ると、聲柄から何かお前さんが物を食べたりするその風まで、まアすゝお父さんによく似てゐるので私は先刻からぼんやり見とれてた位なのよ、おまけに年までお父さんと同じとは不思議な事もあるものだわねえ』

了『へえー、左樣で御座いますかなあ、私がお亡くなりになつた花魁の親御樣にそんなによく似て居りますかへねー成程不心議な事もあるもので御座いますね』

女『だから私は本當に何だかお前さんが懷しくてね他人のように思はれないんだよ、今日もお前さんに拜んで貰つて斯うして御供養をするといふのも心の中ではお父さんにお酌をしてゐる心算なのよ、どうか充分に醉つておくれ』

れう『へえゝゝ、そりやあ何うも私もいゝ方に似てとんだ仕合せで御座います、そういふ譯なら御遠慮なく頂戴をいたしましようか、あゝいゝ心持になりました!』

女『どうかれう念さん。これからもね、ちよい〳〵顏を見せて下さいよ。これはほんの少しばかりで本當にお恥かしいのだが今日のお禮の印ですからどうぞとつて置いて下さいね』

お鳥目を包んでそれへ出した

れう『何うも御馳走になつた上、御布施を頂いて有難う御座います。エ、モウ澤山で』

女『マアいいからお上んなさい』

ドン〳〵酌をしてくれるので、れう念は大恐悅

これが緣になりまして女はれう念が店先へ立ちさへすれば座敷へよび上げて馳走をしてくれたり、小使をくれたりする。れう念がその度毎に遠慮をする。イ、エそれも皆なお父さんへ孝行をする心算なのだから受けておくれ、他人とは思はないからと女がいふ。其の樣子が如何にも眞劍だかられうねんは孝行な女だと自分も嫌な心持はしない、樂しみにしてチヨイ〳〵廻つて行くやうになつた

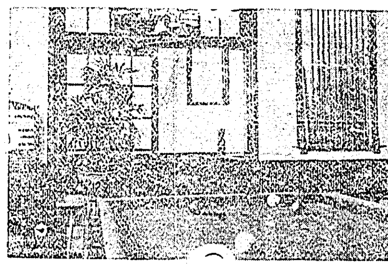
恐るべき中風、腦溢血を速治せしむ

アイヨー錠

血壓を下げ、血管を返り、中風を全治し、早老及老衰を豫防す。
中風の原因は血管の硬化にあり血管硬化すれば血壓高まり精神的並に肉体的に退行現象を生じ所謂老年病を誘發し或は中風腦溢血を突發す。
アイヨー錠の應用は血管に若返り現象を與へ老衰の進行を緩徐ならしめ初老及中老期に隨伴する總ての不快症を除去し中風を豫防す。
動脈硬化症、高血壓症、初老期に於ける体力及精力減退、中風、腦溢血の豫防に常用すべき貴重藥
百四十四錠(八日分)弍圓 四百八十六錠(廿七日分)六圓
千八百錠(百日分)弍拾圓

專賣店 山野邊藥局 平町五丁目 (電呼六六八)

鐵道省指定記念
小名濱…湯本間乘合自動車無料乘車券サービス
乘車券は小名濱馬目自動車店、西野屋自轉車店、湯本驛前丸本、矢内自動車店に御座います。三人樣以上はハイヤーをサービス致します。何卒御利用下さい。



(小瀧へ!!!)
◇宿泊料 1.50 2.00 2.50
(御滯在は左記料金にて中食料をふくませます)
◇日歸浴席料 .20
◇自炊料 .50—.80 {入浴料・室料 夜具料一切
◇料理一定食 .80 1.00 1.50
(その他一品料理洋食)
◇湯効 神經痛・リウマチス・胃腸病 痔疾・婦人病・逆上・中風・肥胖病
(內務省東京衛生試驗所檢定濟)
◇諸設備 撞球室・高級ラヂオ・大廣間 讀書室・近代式浴場と洗面所・水洗式便所 小動物園・タクシー部・御子樣運動器具
◇名物 川魚料理(うなぎ・鯉)蜂密羊かん
◎女中數名入用◎
常磐線湯本驛 小瀧鑛泉
御旅館 御自炊 瀧の湯
電話(小名濱)103番

廣告

おでんで茶めし 小鳥で
一平(イッパイ)
電話二六三番

磐城名物 靈峰羊羹(れいほうようかん)
小川郷驛前 平屋賣店

一般貨物運搬
迅速低廉に御取扱ひ致します。
福好工業合資會社
代表者 強口唯七郎
自動車部 電話二八二番
砂利、砂の御用命に對しては特に廉價にて御供給致します。

互融會事業近況
事業報告(昭和拾貳年自一月一日至一月卅一日)
會員數 六、一四二口
世帶數 四、一六四戶
積立金 五九、九四五、八一錢
融通口數 一、三二二口
融通金額 八〇、一六三、一三
融通金回收額 一九、五四八、五〇

一、社會公共事業及慈善事業ヘノ奉仕
一、精神修養講話會
一、會員ノ吉凶慶弔
一、會員相互見舞
一、人事相談及婚姻ノ媒介
一、診療救血ノ補償
一、税金ノ代納事務取扱
一、會報發刊
一、節儉日税立金ノ獎勵
一、小資本金ノ相互融通

太平火災海上保險株式會社平中央代理店
石城中小商工互融會
事務所 福島縣平町揺槌小路一番地
小名濱方部 小名濱町古湊
湯本方部 湯本町天王崎
菊田方部
相双支部 原町東一番町

產科 婦人科 花柳病科
午前宅診 午後往診 入院應需
井坂醫院
平町田町(元合津醫院跡) 電話五五九番

食事、喫茶、酒場を兼ねた
冬のサロン
男給の店
平・田町・電三五二

◎日本石油株式會社特約店
ライジングサン石油株式會社重油特約店
關彰商店平支店
電話六一番
本店 水戶線下館驛前
茨城縣土浦町田宿(電話五五・三三九番)
支店所在地
常磐線關本驛前(電話六五三 八二四)
常磐線四倉驛前(電話平潟五四)
久慈濱支店(電話四八)
小名濱支店(電話二三七番)
海上給油所(江名濱、大津、平潟)
營業種目
石油、揮發油、輕油、重油、マシン油、モビール油、機械油類、植物油、胡麻油、コールタール、カーバイト、石炭、コークス、ストーブ

御贈答品には ニンベン
かつをぶし
宍戶屋商店
平町四丁目
電話(鹽干部)二一五 (鮮魚部)四〇七番

內臓外科 一般外科 花柳病科 (入院隨意)
平町六丁目(橋際)
木村外科醫院
電話三〇九

二百圓問題を除く外 選擧形式は全部同一

當面の改選と市町村制

平町と平窪ご合併胎動の春を語る

五月は近い

相手の平窪村一部に侮り難き反對氣分が漂つてゐる事は昨報の如き陳情團の上京に徴しても一點疑ひの無い處であるが、先方の何割かゞ平町側では之に一瞥を呉れず、合併による平市制の實施を目ざしてひたむきに進んでゐる――處で愈々之が實現の曉はどうなるか？蓋し平窪村に於ける贊成派の肚は第二として平町では一部少數の町政參劃者を除き因て生ずる利害得喪などに就ては殆ど何等の關心が無いもの〻如く、問題は、例の町會改選期に當面してゐる丈けに『その場合の市會選擧』がどうなるかを知らんとする所謂選擧ファン的の獵奇氣分が其の大部分と云つた形ちである。が今後新しく生れ出づる市がその劈頭に於て

條例を以て選擧區を設けその區域並に其所から選出する議員數を定める

かどうかは姑らく云はず、他は二十五歳以上にして二年以上の居住を必要とする公民の條件をはじめ、名簿の調製期（毎年九月十五日現在）同上縱覽期間（十一月五日より十五日間）同上確定期（十二月二十五日）選擧會場、日時、議員數の公示に關する規定等は市町村何れも同樣で異る點は市會に在つては縣制十三條三の準用を受けて候補者一人に付二百圓又は之に相當する國債證書を供託せねばならない丈けなので、いざ選擧となつた處で名簿其他に就ては兩町村とも先刻承知の事であり、候補者に各方面から色々な新顔が出るであらうと想像さるる以外、選擧の形式等に就ては何等の新味が生ずるわけでなく、随つて斯うした機會に何らかの蠢動に出でんと虎視眈々たる分子は些か手持ち無沙汰の哀感を味ふ事にならうと看取される

景氣好轉を語る 移出、入の增加

平町十年度中の調べ

平町十年度の各種移出、入の調べが大体出來上つた――これによると移出は五百萬圓移入一千萬圓で前九年度に比し移出入共各一割方の增加を示して好況を如實に物語つて居り、十一年度ゝ更に增加してゐるだらうと町役場當局では見てゐる

移出 生糸の五十七萬六千圓を筆頭に砂糖五十萬四千圓、金屬製品四十一萬圓、煙草三十二萬圓、綿織物三十萬五千圓、木材二十四萬圓等が主なるものである

移入 移入の方は常磐炭の百六十七萬二千六百圓が斷然壓倒を示し全移入一千萬圓の一割七分弱に當つてゐる外砂糖八十萬六千圓、米穀七十一萬圓、綿織物六十五萬一千圓、金屬製品五十四萬圓等が主である

。。。。。壯丁虎眼檢査　平町では來る二十五日午前七時から町會議事堂で十二年度壯丁二百餘名のトラホーム檢査を行ふ

菊池探偵長

◇民報賞獲得

平署部長刑事菊池武夫氏は永年に亘る犯罪搜査の功により福島民報賞を獲得、今十九日午前十時から柴田署長より傳達された

郡南木材組合結成

石城郡南木材組合は去る十六日午前九時より植田署樓上に於て結成式を擧げ第一回役員（任期二ケ年）を左記の通り決定した

組合長蛭田虎次郎　副組合長吉野金次郎　會計逸見萬吉　評議員芳賀明　秋山市造外五名

。。。。飯野八幡新年祭　飯野八幡神社の新年祭は今十九日午前十時から行つた

平町豫算町會

本會議は來月五、六日か

十二年度豫算總額四十六萬六千八百六十五圓を附議する平町會は來る二十七日午後一時開き齋沼町長から豫算の全面に亘る說明あるが例によつて委員附託となり全員を決算、豫算の兩委員に任命夫々の檢討を行つた上愈よ本會議で議決する筈である、本會議は來月五、六日頃開かれる模樣である

特別社員章御親授

―光榮の郡下四氏―

陽春四月總裁　閑院宮殿下の台臨を仰ぎ開催する日本赤十字社本縣支部第四回社員總會を記念して今般同社會事業資金に寄附した郡下の諸氏は左の如くである、これらの篤志家は　殿下より社員章の御親授を受ける外數々の光榮に浴する

△特別社員章拜受　（二百圓寄附）

△山野邊忠雄（植田）△鈴木福松（飯野）△山崎糸七（同）△吉田作平（磐崎）

青年學校視察研究

青年學校教育の本旨を徹底せしむる爲學校經營の實際を視察研究して其の實績の向上を期する青年學校視察研究會の石城方部は左記日割により夫々開催すると

五月十日上遠野　十一日小名濱　十二日內郷村　十三日草野各青年學校

。。。。。。磐崎第一學藝會　磐崎第一小學校の兒童學藝會を二十一日午前九時から同校講堂に開く

。。。。渡邊消防新副組頭　久しく欠員中であつた渡邊村消防副組頭は此程小頭久保安雄氏と決定した

五町歩燒失

昨日堀坂の山火事

內郷村綴字堀坂の共有林から昨十八日午後零時四十分頃發火、約五町歩を燒いて二時半頃鎭火した、原因火葬場煙突の飛火、損害は立木が少いので約三十圓で止まつた

おいで、就職兒よ

東京方面の求人殺到に 張り込む紹介所

愈よ卒業の春近く、求職兒の斡旋に萬遺漏なきを期してゐる平職業紹介所では先づ東京方面のものから決めやうと過般來管下小學校から取纏めた志望者約三十名分の關係書類を今十九日縣當局へ送付した

書類は更に東京中央紹介所に送られるが、好況の波に乘つて各方面から求人殺到の折柄なので就職は上々吉だと云はれてゐる

尚同所では地元志望のものを今月末に取纏めた上本格的斡旋に乘り出す筈であるがはや鐵工方面を最多として確實な申込み百二十餘名に上つて居り『大丈夫四月一杯には片づけるぞ……』と意氣込んでゐる

募集

少年工場員　二名

小學卒業程度のものにして町內居住者に限る、履歴書送付あれ、面會日通知す

本社

轢逃げ事件

トラックの犯行確實

死体解剖の結果頭部に打撲傷

平署躍起の搜査進む

昨報―內郷村新宿內田圃中で發見された同村綴字板木澤四三大工職齋藤八留男(四三)＝昨報春雄は誤り＝の死体は昨十八日午後から實兄の齋藤慶助方で柴田平署長立會藤沼醫師執刀解剖に附した。懐ろ手をした儘の死体には胸部、後頭部二ケ所の打撲傷と右腰骨が骨折して居る處から綜合して自動車にはね飛ばされて死に至つた事實が明白となつた

即ち同人は前夜飯野村荒川から年始廻りの歸途更に義兄に當る平町材木町一一古物商渡邊貞吉方に立ち寄り同所に醉ひつぶれて深夜一時半頃歸宅の途中現場國道で湯本方面から疾走して來た自動車に刎ね飛ばされて前記の重傷を負ひ路上に後頭部を強打しそのまゝ息絶えたらしく運轉手（助手も同乘か）は轟々倒と見て死体を田圃に棄て逸早く逃走したものと見られてゐる

平署では目下片つ端から地方のトラックを洗ひ搜査を進めてゐる、尚横死者齋藤方は妻子五人あり附近から同情されてゐる

犯人依然不明

別項―轢き逃げ自動車の犯人につき平署では引續き各方面に手配する一方全署員を動員して湯本方面を通過した貨物自動車の行動に主力を注ぎ鋭意搜査に努めてゐるが、今十九日午前中迄には逮捕に至らなかつた、尚內郷村の轢き逃げ事件はこれで三回目である

レコードを備へた 觀光列車初運轉

平驛神詣のサーヴィス

平驛では目下新春神詣團体を募集してゐる

△第一回二月二十一日出發―同二十六日歸着△第二回同二十二日―二十七日△第三回同二十七日―三月四日、募集人員各四百名、費用概算三十七圓四十八錢（內譯汽車賃一〇圓四八錢、其他一七圓）

この團体には過般平―水戶間で試運轉して好成績を收めたスピーカーが備へられレコード等をかけて乘客の旅情を慰める、行程左の如し

第一日―有名な丹那トンネルや富士の靈峰を車窓に眺めつゝ京都宿泊、第二日―各旅館より自動車で京都市內及嵐山、桃山御陵、伏見稻荷等を迂廻して京都出發大阪泊、第三日―旅館より自動車で大阪城附近を見物し淡町驛より電車で高野山に至り參詣の上中食を濟まし下山、橋本驛より列車に乘りかへ信貴山泊、第四日―信貴山參詣出發奈良著、春日神社參拜後市內見物の後出發、山田著泊第五日―伊勢神宮參拜後特別大々神樂奉奏、二見浦等を見物後旅館で中食を濟まし車中泊、第六日―早朝熱海著旅館で入浴朝食を濟まし附近散策の上歸途

縣無盡協會掛金協定

許可の指令に實施打合會

福島縣無盡協會では豫て其筋に掛金協定に關し許可申請中であつたが此程愈々許可の指令あつたので來る二十四日平町磐城無盡會社に各社代表會同、迫縣經濟部長、竹內商工水產課長、其他中央から關係筋の臨席を求め之が實施に關する打合せをなすと

。。。。境川橋着工　四倉町仲町境川橋は工費千六百圓（地元負擔）で此程着工した、延長六米、幅員五米

。。。。植田町新年祭　十七日午前九時より八幡神社々前に於て町民多數參列嚴かに執行した

天氣豫報

（小名濱測候所發表）

今晩は南西の風曇後晴

明日は西の風曇後晴

受驗難の春に 心は曇るよ！

軍需景氣で希望者殺到

試驗地獄の春は先づ國鐵から開かれて、此程行つた傭人試驗はその採用率二十人に一人だと云ふから樂でない、お次は郡下海軍兵の檢査、昨十八日から第三小學校講堂で行つてゐるが三日間の受驗者〆て二百四十九名、このうち採用は果して何人やら？、日立製作所海し寄せたり九十餘名――紹介所でも『一体何人採用されるかナ……』とムズかしい顔をしてゐる始末で、更に來月一、二の兩日平町で行はれる仙臺遞信講習所の入所試驗も卒業期の折柄とてワンサ！と押しかけようしこのうちパスするのが例によつて數名と云ふ心細さである

モグリ周旋

根本の罪狀判る

昨報―モグリ周旋で富岡署に擧げられた四倉町原田飮食店根本ハルヨ(四六)は昨年九月頃双葉郡廣野村折木根本信志長女イノ(一八)を三年間三百圓の契約で富山縣上新川郡玉地町藝妓置屋高木イツ方に藝妓見習として周旋し双方から謝禮金を貰つたのを手始めに數回に亘つてモグリ周旋をしてゐたものである

市制實施稟請

平町々會に議決

平窪合併の調印を了した平町では來る二十一日午前十時から市制施行委員會を開いて交涉經過を報告、同日午後一時から更に町會を開いて議決した上愈よ縣知事を通じて河原田內相に市制實施を稟請する事となつた

白面の人絹職工 女給を種に詐欺

正月中の舊惡露顯

錦村大字中田字部落合居住人絹工場職工白河町三番町四二生れ前科二犯松井政雄(二四)は昨年五月頃より錦村大倉カフェー大和方へ足繁く出入り中同家で女給を欲しがつてゐるのを聞き込み去る一月三十日深更同家に到り女給を世話するからとて百五十五圓を詐取した事發覺、川島巡査が檢擧此程一件書類と共に送檢された

二十日（小名濱測候所發表）

滿潮　前九、五〇　後――

干潮　前――　後七、一〇

舊一月十日　土曜　戊寅　佛滅　建　胃宿

新二月二十日

諸判定施發　東京市本鄕區湯島四丁目　高島易斷總本部　神　讃

▲一白　諸事とんとんびやうしに進行する日新事計畫も吉し▲二黑　熱狂する時は意外の取れあり愼重なるが吉▲三碧　貧乏神に追ひ驅けらるゝが如したわます進め▲四綠　計畫はちみつに實行は大膽に活躍するが吉し▲五黃　平穩無事の如くなれど兎角進み過ぐるは凶▲六白　彼是と悶多く心配あれど堅實なればとがめなし▲七赤　他人を賴みは油斷の非自信を以て解決せよ▲八白　暗うんていい迷の日兎角物事に迷多し病難亦注意▲九紫　不安の中にも榮光のさすべき日奮勵が第一

廣告

高久病院　院長　高久忠　電話五一三番

夜間診療

胃腸病　內科　胃腸病科　花柳病科　性病科　皮膚科　專門

松村胃腸性病科醫院（平町研町壹一〇一七番）

（見習看護婦募集）

吸入用酸素　純度99%

度量衡　モノサシ　マス　ハカリ

計量器　体温器　寒暖計

關內藥局　電話四〇番

喜小國の小君
久　ん
榮舟助き鈴香
一五今愛つ○
太　ぼ
郎郎子子み丸

藝妓屋　山田家　植田町　電話八番

新築落成　山田屋旅館　植田町　電話八番

職員募集

採鑛係員　四名

學歴アレバ結構ナルモ無クテモ宜シ實地經驗ノアル者ニシテ身体强健ナルモノ

給料ハ月四拾圓乃至百貳拾圓

希望者ハ至急御申シ込ミ下サレ度シ

石城郡赤井村小川鄕　福島炭礦

待望久し　唄の「市丸」來る

新進歌手　久富吉晴　天才作曲家　佐々木俊一

ビクター專屬　唄の「市丸」　伴奏一行出演

特別出演　平名妓多數

日時　二月二十一日　日曜　晝正午後二時から　夜午後七時から　二回

場所　平館

會員券一枚　金壹圓也

主催　平町軍人分會